

**相場で負けるのは、実は
ある法則で当たり前のこと！**

でも安心

ちょっとしたこの3つを

変えるだけで

10%の勝ち組に入れる！

黒田真人

著作権と使用許諾につきまして

本 PDF ファイルは著作権法で保護された著作物です。取り扱いについて以下の点にご注意ください。

本 PDF ファイル(本書)の著作権は全て著者の黒田真人に属します。本書は、無料メルマガ(FXはこれで勝てる! 黒田のFX塾)に読者登録された方に配布されたものです。

著作権者の書面による事前許可なく、本書の一部または全部をあらゆる手段(紙媒体、電子媒体、映像媒体、音声等)により、複製、流用、および転載、オークションなどでの転売をすることを禁じます。

本書に記載の内容は、著者の知識、経験に基づいて主観的に述べられていることから、その正確性を保障するものではありません。運用および投資にあたっては、投資者(トレーダー)の責任において行うものとします。万一、本書に記載した内容に従って投資を行い損害が発生しても、損失金額の補填および弁済、その他一切の責任を黒田真人は負わないものとします。

はじめに

この度は、本 E-Book をダウンロードいただき、ありがとうございました。

本書は、FX のトレードを行っている人の約 9 割の方が相場で負けて撤退を余儀なくされている現状を 10 年以上見てきた著者が、心理学の面から見た、実は相場で負けることは当然のことであることと、相場で勝てる人と、負ける人との相違点を明らかにしながら、実は約 1 割の勝ちトレーダーになるのはそれほど難しいことではないということをご紹介します。

したがって、その内容は絶対的なものではなく、あくまでも著者個人の意見が中心であることを前提にお読みください。

目次

P4 ■ 実は、相場で負けてしまうのは当然のこと！？

P10 ■ 1 つめ FX は投資である

P15 ■ 2 つめ

相場は「楽しんで」ではなく、「楽しんで」するもの

P17 ■ 3 つめ 損益はトータルで見るもの

■ 実は、相場で負けてしまうのは当然のこと！？

まずはじめに、冒頭でも申し上げましたが、FXを行う投資家の約9割は負けていると言われていています。

これは私の経験でもそう思いますし、多くのFX会社に聞いてもそう言われます。

では、なぜ多くの方がFXで負けてしまうのでしょうか。

今日は、その法則をご紹介します。

FXを始める際は、当然みなさんは相場で利益を上げるために行うと思います。

最初から負けることを前提に始める人は、いないでしょう。

また、相場も単なる確率論からすれば、上げるか、下げるか、の50%なんですから、勝てる確立も50%と思うのも当然です。

でも実際には、90%もの人がFXで負けてしまい、相場自体からの撤退を余儀なくされてしまっているのが現状です。

みなさんはなぜそうなってしまうのか、その理由を考えたことはありますか。

ここからは、心理学に基づいた検証結果をご紹介します。

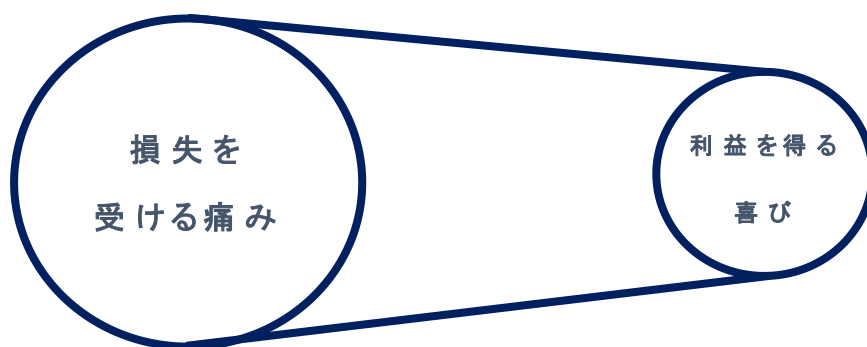
心理学者であり、行動経済学者でもある、ノーベル賞を受賞したダニエル・カーネマン氏らが行った実験では、

人は、

**損失を受けることで感じる心の痛みは、
利益を得る喜びよりも大きい**

という結論を出しています。

損失を受ける痛み > 利益を得る喜び



こんな感じですね。

利益の喜びよりも、損の辛さのほうが大きい。

みなさんも心当たりがあるのではないのでしょうか。

これをトレードに当てはめると、

例 1、

ある時、ドル円でドルを買いました。

でも、その後の相場は思惑とは逆に変動し、ドルは下がってしまいます。

そのうち、トレーダーは考えます。

含み損は増える一方だが、損切りを行うと損が確定してしまうので、相場が上がるまで待とう、と。

でも、その後も結局相場が戻ることはなく、最終的に損失が想像以上に膨らんでしまい、取引口座はロスカットになってしまいました。

もうひとつ例を、

例 2、

ある時、ドル円でドルを買いました。

その後、相場は思惑とおりにドルが上がって、含み益が増えてきました。

さらに相場は上昇を続け、一時は 10 万円まで含み益が膨らみました。

しかし、トレーダーはいつ利益を確定していいか分からず、ずっとドキドキしています。

そのうち、相場が一旦下がり始め、含み益が 8 万円にまで減ってしまいました。

そして、これ以上含み益が減ってしまうことに絶えられず、結局決済して利益を確定させました。

例は以上です。

さて、最初の例 1、はどうでしょう。

多くのトレーダーは、損切りしない限り損は確定しない、と思い込んで我慢にガマンを重ねます。

しかし、相場に絶対はありませんので、もっと損失が増えてしまうリスクがあるにも関わらず、早めのリスク回避ができずに結果として大きな損失となってしまうています。

特に、ガマンの結果、相場が戻った経験がある方は、再度同じ状況になってもガマンをしてしまう傾向が高いです。

また次の例 2、では、

含み益のはずなのに、一度見た含み益の数字はすでに自分のものであるとの、自身に都合のいい捉え方をしてしまうんですね。

みなさんも、仮に見ていなくても、チャート上で確認した一番大きい含み益が、決済をして確定したわけでもないのに、もう自分のものであると思ってしまう、という経験はありませんか。

そうなる、それから含み益が減ってしまうと、すでに損をした気持ちになって、これ以上利益が減ってしまうことに耐えられなくなってしまい、結果として小さく利益を確定させてしまう、という行動を取ってしまいます。

いかがですか。

どちらの例も、最初にご紹介した

「 損失を受ける痛み > 利益を得る喜び 」

の法則から出た結果です。

多くの方がこの傾向があるために、損切りは遅く、利食いは早い、という悪循環を繰り返し、結局トータルでマイナスになってしまうことに陥ってしまいます。

これが、多くの方が相場で負けてしまう大きな理由なんですね。

では、結局のところ相場では勝つことはできないのか、というとそうではありません。

多くの方が上記の法則に則って起こしてしまう行動を、そうならないように訓練すればいいだけの話です。

ここから先は、具体的にどうしたらいいのかを、勝っているトレーダーと負けているトレーダーを比較して見ていきたいと思います。

■ 1 つめ

FX は投資である

これ、もの凄く当たり前のことを書いているのですが、実は多くの方はこれを理解していません。

投資である以上、

- ① 仕組みを理解し、
- ② リスクを理解し、
- ③ 運用方法を考え、
- ④ トレード技術を身につけ、
- ⑤ 実行する

のですが、多くの方は①、②までは出来ていても、それ以降まで行っている人は少ないです。

中には、①、②も理解しないまま始めてしまっている人もいます。

相場というのは、他の世界とは大きく異なっている点がひとつあります。

それは、

プロとアマが同じ土俵で戦っている、ということです。

プロのディーラーや機関投資家等と、個人投資家や投資経験の浅い人が同じ土俵で戦っているんですね。

これは、スポーツや将棋、囲碁、音楽の世界ではないことです。たまにジョイントすることはあっても、互いに戦うことはありません。

でも相場は違います。

プロのディーラーや機関投資家も、個人投資家や投資経験の浅い人も、同じ土俵で戦わなくてはならないんです。

これを理解しないで、多くの個人投資家は何を思ったか、次のような路線に向かってしまうんです。

それは、

- ・ 一日わずか 10 分の作業で月に 10 万円の利益！
- ・ たったこれだけで 10 万円が 1 億円に！
- ・ 勝率 100% で絶対負けない投資方法はこれ！
- ・ ほったらかしで一日 50pips の利益！
- ・ 毎日が不労所得！
- ・ 誰も知らない勝率 100% の手法！

等々、挙げたら切りがないですが、要は「安易に楽しんで」で利益を得ようとしてしまうんですね。

人間の性として、「安易に楽しんで」を求めてしまうのは仕方のないことですが、投資にこれを求めてはいけません。

もし本当に「安易に楽しんで」利益を上げることができるのなら、FX で買っている人はもっと多いはずですし、利益を上げるために莫大なコストを支払っている機関投資家が見逃すはずはありません。

プロと同じ土俵で戦わなければならないのに、プロより楽しんで勝てるわけがないんです。

当たり前といえは当たり前ですが、これがよく理解されないまま、誇大広告に踊らされている人が多いのが私は非常に残念でなりません。

よく言われていることに、「プロになるには1万時間が必要」、というのがあります。

一日も休まず、一日10時間費やしたとして、2年7ヶ月間が必要ということです。

仮にこれでプロになれたとしても、そこで勝ち残っていける上位の一握りになるには更なる努力が必要になります。

多くの方は、薄々でもこのようなことを感じ、または知りながらも、「もしかしたら、これだけは違うのではないか・・・」という期待感に負けてしまい、煽り文句に乗っかってしまいます。
非常に残念なことです。

では、ここで私がみなさんにお伝えしたいのことは、

みなさんはこのようなことに引っかかってはいけませんよ、
ということは、そうなのですが、それ以上に、

多くの個人投資家がこのような状態なので、「**上位 10%と
言われる勝ち組トレーダーになるのは、実は難しいこ
とではないんですよ**」、ということです。

もし、東京大学に合格しようとしたら、受験者自体のレベル
がそもそもかなり高く、その中で戦わなければならないので
合格の壁は非常に高いですが、FXの場合は、（批判を承知で
あえて書くと）そもそもの個人投資家のレベルが高くないの
で、上位 10%に入ることは難しくありません。

これ、凄い大事なことです、よーく理解してください。

そして、ここを理解したうえで、

- ・ **正しい知識**
- ・ **正しい思考**
- ・ **正しい技術**

を身に付けて勝ち組のトレーダーになってください。

正しい知識と、思考と技術を身に付ければ、変な広告に踊らされることなく利益を出せるようになります。

0から1を生み出すのは大変なことです、
1できるようになれば、あとは2でも10でも膨らますことはカンタンなことなんです。

■ 2 つめ

相場は「楽しんで」ではなく、「楽しんで」するもの

これまで何度も書いてきましたが、負けトレーダーに共通することとして、「楽しんで」勝とうとしている点があります。

でも、勝ちトレーダーの多くは「楽しんで」相場に臨んでいることが挙げられます。

- ・ **楽しんで**
- ・ **楽しんで**

同じ「楽」という字ですが、意味は全然違います。

「楽しんで」には、受動的、他力本願、安易に、といった意味が含まれますが、

「楽しんで」には、能動的、自発的、好き、という意味が含まれています。

「好きこそものの上手なれ」これは真理です。

相場ですから、淡々に行わなければならないこともありますが、その根底には相場が好きであり、トレードを楽しんでいることが挙げられます。

私が知っている勝ち組トレーダーは、みなさん共通して相場が好きです。

孔子の『論語』にこういうことが書いてあります。

これを知る者はこれを好む者に如かず。

これを好む者はこれを楽しむ者に如かず。

優れた知識を持っている人でも、どんなに熟練した能力を持っている人でも、そのことが大好きだという人には敵わない、ということです。

さらに、そのことが大好きだという人でも、それを楽しんでいる人には敵わない。

そういうことなんですね。

単なる金儲けの道具としてではなく、投資の一環として相場を楽しんでいます。そもそも楽しくなければ続きません。

「楽しんで」と「楽しんで」は紙一重かもしれませんが。でも大きな違いです。いきなり「楽しんで」は相場の勝ち負けもありますし難しいかもしれません。でも、「楽しんで」を変えることは可能ですよね。もし、「楽しんで」勝とうと思っているのなら、それは人間の弱みにつけこんだダマシですので意識を変えましょう。

■ 3 つめ

損益はトータルで見るもの

トレードの結果を判断する材料にはいくつかありますが、そのひとつに「勝率」があります。

10回トレードして、9回勝って、1回負ければ勝率は9割ですね。6回勝って、4回負ければ勝率は6割（60%）です。

そして、この勝率、多くの人（特に初心者の方）がこの勝率を重要視していたりします。

なぜ勝率を重要視する人が多いのでしょうか。

それは、分かりやすいからなんですね。

単純に勝率が良ければ、それだけ勝ち数が多いことになりま
すので、結果として「金額（利益）も多いんだな」といった
イメージが湧きますよね。

でも、それってイメージなんです。

そう、想像でしかないんです。

確かに、勝率は悪いよりは良いほうがいいです。

4勝6敗よりも、6勝4敗。

2勝8敗よりも、8勝2敗のほうがいいです。確かに。

でも、よく考えてみてください。

確かに勝率は良いに越したことはないですが、それがすべて
ではないですし、それよりも、勝率では分からない重要なこ
とがあるんです。

答えを言いましょう。

それは、

利益 です。

勝率が 10 割（100%）ならば、その結果に損失がでる余地はないですが、仮に 9 勝 1 敗でも、トータルでマイナスになることはあります。

これはトレードを長く行っている人ほどお分かりいただけると思いますが、たった 1 回のトレードで、これまで何度も利食いしながら貯めてきた利益を吹っ飛ばしてしまうことがあるんですね。

これは、初心者の方ほど顕著に現れるのですが、その理由は、冒頭で説明した

損失を受ける痛み > 利益を得る喜び

の法則があるからなんです。

そして、多くの方がその訓練をしていないので、人間の性ともいえるこの法則で負けているだけのことなんです。

したがって、重要なことは勝率ではなくて、トータルの利益なんです。

そして、トータルの利益を上げるために重要なことは、

利益を増やすことよりも、 損失を増やさない

ということなんです。

どんなに利益を上げてても、一方で損失が増えていってしまっ
ては元も子もないんですね。

バケツに空いた穴は小さいほどいいんです。

相場では、損切りは必須です。

よって、「損をしない」ことが重要なのではなく、
「損は小さく抑える」ことが重要なんです。

多くのレポートや商材では、増やすことばかりに焦点が向け
られていますが、実際にはそれよりも損を小さく抑えるほう
が余程重要です。

そしてそれは、練習で習得することは十分に可能です。
思い当たる方がいたら、早いうちに修正しましょう。
まだ間に合います。

ということで、本レポート

相場で負けるのは、実は
ある法則で当たり前のこと！
でも安心
ちょっとしたこの3つを変えるだけで
10%の勝ち組に入れる！

を最後までご覧いただき、ありがとうございました。

ここまで、いろいろと書いてきましたが、
総じて言うならば、それは、

**大事なことを間違わなければ、
相場で勝つことは難しくない**

ということです。

特に、これまで書いてきた大事なことを意識しながら修正していけば、きっと勝ち組になれます。

それでは、最後までご覧いただき、ありがとうございました。

以上

黒田真人